

N.B.:当日の発表と質疑の結果を踏まえて修正した箇所を赤表示しました

2015年10月月例研究会

2015年10月31日(土) 14:30-17:00

石田康博

名古屋大学工学部総務課図書係

仕事 [iscida@nul.nagoya-u.ac.jp](mailto:iscida@nul.nagoya-u.ac.jp)

私用 [NQJ35480@nifty.com](mailto:NQJ35480@nifty.com)

N.B.:資料中「→」は石田の主観です

N.B.:資料中のリンクはすべて [http](http://) リンク

## イタリアの目録規則 REICAT の概要

### 0. はじめに

#### 0.1. イタリアの図書館

0.1.1. 国立の公共図書館(biblioteche statali comunali)は3種類

国立中央図書館(biblioteche nazionali centrali)2館

[Biblioteca nazionale centrale di Firenze](#) フィレンツェ国立中央図書館

[Biblioteca nazionale centrale Vittorio Emanuele II](#) ローマ国立中央図書館

国立図書館(biblioteche nazionali)7館

[Biblioteca nazionale universitaria di Torino](#) なぜかトリノ大学図書館だけ nazionale

[Biblioteca nazionale Braidense](#) ブレラ図書館(ブレラ宮殿にあり,ブレラ美術館のとなり)

[Biblioteca nazionale Marciana](#) サンマルコ図書館(日本ではマルチャーナで知られる)

[Biblioteca nazionale Vittorio Emanuele III, Napoli](#)

[Biblioteca nazionale Sagarriga Visconti Volpi, Bari](#)

[Biblioteca nazionale di Potenza](#)

[Biblioteca nazionale di Cosenza](#)

国営図書館(biblioteche statali)約50館

[Biblioteca reale, Torino](#)

[Biblioteca statale di Cremona](#)

[Biblioteca universitaria di Pavia](#)

[Biblioteca universitaria di Genova](#)

[Biblioteca universitaria di Padova](#) パドヴァ大学図書館

[Biblioteca Statale Stelio Crise di Trieste](#)

[Biblioteca Statale Isontina di Gorizia](#)

[Biblioteca universitaria di Bologna](#) ボローニャ大学図書館

[Biblioteca Estense universitaria](#) エステ家図書館でありモデナ大学図書館でもある

[Biblioteca Palatina](#) (con annessa sezione musicale), Parma パルマ音楽院図書館はこの分館

[Biblioteca Marucelliana di Firenze](#)

[Biblioteca Medicea Laurenziana, Firenze](#) メディチ家大ロレンツォ図書館(日本ではラレンツィアーナ)

[Biblioteca Riccardiana, Firenze](#)

[Biblioteca biomedica, Università degli studi di Firenze](#)

[Biblioteca di scienze Tecnologiche, Università degli studi di Firenze](#)

[Biblioteca di scienze, Università degli studi di Firenze](#)

[Biblioteca statale di Lucca](#)

[Biblioteca universitaria di Pisa](#)

[Biblioteca statale di Macerata](#)

[Biblioteca Angelica, Roma](#)

[Biblioteca Casanatense, Roma](#)

[Biblioteca di archeologia e storia dell'arte, Roma](#)

[Biblioteca di storia moderna e contemporanea, Roma](#)

[Biblioteca medica statale, Roma](#)

[Biblioteca statale Antonio Baldini, Roma](#)

[Biblioteca universitaria Alessandrina, Roma](#)

[Biblioteca Vallicelliana, Roma](#)

[Biblioteca universitaria di Napoli](#)

Biblioteca dei Girolamini, Napoli

([Biblioteca statale oratoriana](#) del Monumento nazionale dei Girolamini di Napoli)

[Biblioteca statale di Montevergine, Mercogliano \(Avellino\)](#)

[Biblioteca universitaria di Cagliari](#)

[Biblioteca universitaria Sassari](#)

特徴： 国の法律で規定

D.P.R.5 luglio 1995, n. 417 (1) 1997年7月5日共和国大統領令 417(1)号

[Regolamento recante norme sulle biblioteche pubbliche statali](#)

全館共通の規則で運営；納本制度がある(中央2館以外は県(provincia)内のみ)。

大学図書館 11館指定(Torinoのみ nazionale, ほかは statale)；

組織上は大学から独立して文化省の直轄

他の大学(イタリアの国立大学は全68大学)図書館は大学直轄。

学部図書館中心。中央図書館に相当する組織がない大学が多い。

#### 0.1.2. 自治体(comune)の設置する公共図書館(biblioteche comunali)

自治体の条例で設置。自治体毎に運用が微妙に異なる。

例えば、新聞、雑誌を収集する担当の図書館が自治体によって異なる：

- ・図書と同じように biblioteche comunali で新聞を所蔵する自治体もあるが、特定の図書館で所蔵する自治体と、どの図書館も所蔵する自治体がある。
- ・emeroteca という名称の逐刊専門図書館が biblioteche 以外にある自治体がある。

[Ravenna](#) の場合：新聞雑誌は逐刊専門の emeroteca だけが所蔵。

他の biblioteche comunali には新聞雑誌はない

日曜開館していた。

[Roma](#) の場合：新聞をマイクロ化して保存， biblioteche comunali 通して

提供する機関。カレント新聞は biblioteche comunali で提供

[Parma](#) の場合：3館(Civica/Bizzozero/Emeroteca)が同居。

(それゆえ、独立した Emeroteca の存在が一見判らない)

新聞は Emeroteca だけが所蔵。

## 0.2. イタリアの目録規則

### 0.2.0. RICA 以前の目録規則は詳細不明

国際規格のカードが採用される前，18-19C：cf.:ローマの音楽院とモデナのエステ家

多分1887年 Giuseppe Fumagalli のフィレンツェ国立中央図書館の規則が、統一後イタリア最初の規則。

1922 [Regole per la compilazione del catalogo alfabetico.](#)

1956 [Regole per la compilazione del catalogo alfabetico per auroti nelle biblioteche italiane.](#)<sup>16)</sup> 1966 改訂

第1部	目録とカードについて
第2部	配列語
第3部	カードの内容
	1 タイトル (titolo)
	2 出版注記 (note tipografiche)
	3 書誌事項注記 (note bibliografiche)
第4部	正書法と慣用的記号
付録1	初期揺籃本
付録2	地図
付録3	絵画, 版画
付録4	楽譜
付録5	翻字法
付録6	略語表
付録7	カードの配列

1956 ICCU 設立。

0.2.1. [RICA \(Regole italiane di catalogazione per autori\)](#)<sup>3)</sup>

ICCU 編(1976年); 一部改訂再版(1982, 1995, 2003)

基本記入方式 記述定義は NCR65 や AACR68 に近い。

第1部 標目の選定; 第2部 標目の形式; 第3部 記述。

第I部	標目の選定
	通則
	団体著作
	定期刊行物
	副出記入
第II部	標目の形式
	個人著者
	団体著者
	無著者名古典
第III部	記述
	通則
	記述の一般原則
	記述の本体
	多冊出版物
	タイトルおよび著者表示エリア
	版エリア
	出版事項エリア
	対象事項エリア
	叢書エリア
	注記エリア
	不完全な個別資料
	特殊な出版物
	定期刊行物
付録	

索引

1976年制定時には既に ISBD が存在したので、AACR68 や NCR65 とは異なり、各条文では用語「エリア」を使用しているが、記述規則は NCR65, AACR68 風。ISBD の第 3 エリア相当はなく、注記に記述。

0.2.2. SBN 稼働後には、[ISBD のイタリア語訳](#)<sup>7)8)</sup>と [SBN マニュアル](#)<sup>14)</sup>を使用  
SBN のデータは UNIMARC ベース。

その昔 ANNAMARC があつたらしいが詳細不詳。

0.2.3. [REICAT \(Regole italiane di catalogazione\)](#)

2009 年 ICCU 編纂,出版。最終草案と若干の変更あり。

[最終草案\(bozza\)\(2009.1\)](#)は ICCU のサイトから全文で入手可。

[抜粋\(0-3,8-14 章\)の英訳\(2009.8\)](#)も ICCU のサイトから入手可。

**2015.9.15 に本版を PDF 公開。←多分これを参照のみで十分。**

SBN 参加館の RICA から REICAT への切り替え状況は不詳。

ICCU の図書館簿の情報では全て RICA と ISBD になっている。

SBN の最近のデータの書誌記述は RICA よりも REICAT。

0.2.4. その他の目録規則等のイタリア語訳

AACR2 イタリア語版<sup>10)</sup>は、1988 年改訂版の翻訳を 1997 年刊行。

[ISBD のイタリア語訳](#)<sup>7)8)</sup> 順次 1980 年代後半から 2000 年代に出版

ISBD 統合版のイタリア語訳 [予備版 2009 年出版](#), [本版 2012 年出版](#)<sup>9)</sup>

MARC21 フォーマットのコンサイス版のイタリア語訳([書誌](#)<sup>11)</sup>と [著者](#)) 2007 年出版

[FRBR のイタリア語訳 2000 年出版](#)<sup>12)</sup>

[FRAD のイタリア語訳 2010 年出版](#)<sup>13)</sup>

[2014 年秋 RDA のイタリア語訳開始](#)

0.2.5. 独特の目録

版画の目録

[Guida alla catalogazione per i autori delle stampe](#) (ICCU, 1986)<sup>5)</sup>

パンフ, ポスター, チラシの目録

[Guida alla catalogazione di bandi manifesti e fogli volanti](#) (ICCU, 1999)<sup>6)</sup>

Spoglio(分出記入, 構成部分に相当)の目録

SBN の spoglio 専用マニュアルがある:

[La base di dati spoglio in SBN : manuale di gestione](#) (ICCU, 1996)

0.2.6. イタリアの目録を知るに有効なサイトなど:

所蔵目録検索には:

[SBN \(Servizio Bibliotecario Nazionale\)](#) 総合目録

[Internet Culturale](#) 電子資料の検索。閲覧。SBN の所蔵目録を使用。

[ミラノ音楽院](#)ほか, 別システムで電子化している図書館も多い。

[ICCU \(Istituto Centrale per il Catalogo Unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche\)](#) 図書館総合目録・書誌情報中央研究所

[AIB \(Associazione Italiana Biblioteche\)](#) イタリア図書館協会

イタリアの図書館の総合目録で使用されている所蔵館コード:

・館種問わず: ICCU の図書館簿 [Anagrafe delle Biblioteche Italiane](#)

・音楽図書館: [ブレラ図書館の音楽図書館目録](#)

[Ufficio Ricerca Fondi Musicali : Biblioteche musicali italiane](#)

## 1. REICAT の概要

### 1.1. REICAT 全体の構成

- 3部構成。
- 基本記入方式。

序 (Introduzione)
第1部 書誌記述および個別資料の情報 (Descrizione bibliografica e informazioni sull'esemplare)
第2部 著作と表現形 (Opere e espressioni)
第3部 Responsibility (伊 Responsabilità)
付録 (Appendice)

○序の前の前書，編纂委員会報告が，RICA に比べて充実。

○前書 (ICCU 総裁 Rossella Caffo):

「新 REICAT は，図書館や利用者の変化する要求や，国際レベルの目録理論と実践の発展や図書館資料においても増大する一方の新しい形態の資料，特に，カード目録からオンライン目録への進化，単一図書館の目録から総合目録への進化に対して，RICA ではもはや対応できなくなってきた，と考えられるゆえに生まれた。」

○FRBR 準拠で，第1部が実体の第1グループの manifestation と item，第2部が実体の第1グループの work と expression，第3部が実体の第2グループ(person と corporated body)に相当。

従来の目録規則でいえば，第1部は記述，第3部は著者標目に相当。

○特徴は第2部。FRBR の実体の第2グループの work と expression に準拠している部分。従来の目録規則(イタリアでは RICA まで)には統一タイトルの一部を除いてなかった内容の部分。

序,第2部で FRBR の work—expression—manifestation—item の定義を詳細に解説。

イタリア語の術語：

opera	work
espressione	expression
manifestazione	manifestation
	item は訳語が一定していません
esemplare (FRAD 伊語版, REICAT)	
documento (FRBR 伊語版)	
item のママのものもある	

~~○FRBR の第2グループ第3グループはどこで言及し，準拠しているか不明。~~

~~→多分触れていないであろうと思います。~~

○FRBR の実体の第3グループについては触れていない。

### 1.2. REICAT 序

0. 序
0.1. 目録規則の対象
0.2. 書誌登録とその他のタイプの登録
0.3. 書誌記述と個別資料の情報
0.4. アクセスと選択の要素
0.5. 言語と構文

- 0.6. 略語と記号
- 0.7. 句読法
- 0.8. 注記

#### ○0.4 アクセスと選択のエLEMENT

ここで、電算化目録の検索キーなどの機能を整理している。

「電子的目録においては、書誌レコード(または他の種類のレコード)のすべての情報は、アクセスの要素(またはアクセスポイント)であるべきであり、すなわち、単独または相互の組み合わせによって自由に検索可能であり、可能ならば単語の部分や語尾切断などでも、情報の特定のタイプ(単独の制御されたアクセス要素や書誌記述の要素要素など)を指定または除外した形でも、検索可能であるべきである。

規則はいかなるアクセス要素を保証するかを規定する。他の要素は、同種であろうと異種であろうと、適切であるか特別に必要である時に追加可能である。

制御されたアクセス要素は 0.4.3 条を見よ。電子的目録の検索における選択の要素として使用するにふさわしい情報については、0.4.4 を見よ。」

→検索(ricerca), アクセス(accesso)の制御(controllati)が検索の1次キー、選択(selezioni)が2次キーを指しているのか?

→0.4.4 で規定しているのは、MARC のコードフィールド(0XX), NACSIS-CAT のコードブロックに相当するデータの様です。

#### 0.4. アクセスと選択のエLEMENT

##### 0.4.1. タイトルによるアクセス

##### 0.4.2. 識別番号や識別コードによるアクセス

##### 0.4.3. 統制されたアクセスのエLEMENT

###### 0.4.3.1. 統一タイトル

###### 0.4.3.2. 標目

###### 0.4.3.3. 統一標目

###### 0.4.3.4. 主標目

###### 0.4.3.5. 識別子

###### 0.4.3.6. 参照と相互参照

###### 0.4.3.7. 任意の標目と統一タイトル

###### 0.4.3.8. その他の統制されたアクセスのためのELEMENT

##### 0.4.4. 選択的ELEMENT

###### 0.4.4.1. 日付

###### 0.4.4.2. 資料タイプ

###### 0.4.4.3. 出版のタイプと記録の書誌レベル

###### 0.4.4.4. 出版国

###### 0.4.4.5. 出版言語

##### 0.4.5. その他の取扱い

##### 0.4.6. アクセス要素の証明

#### ○0.4.4.2 資料タイプ(Tipo di materiale)

GMD(イタリア語 designazioni generiche del materiale)を指している。

「資料タイプによる検索または選択は、一またはそれ以上のタイプを指定または除外することにより可能である(付録 C 一般資料種別を見よ)。

資料タイプを1種だけ記録することが可能ならば、主要な内容にふさわしい術語が適当である。

複数の異なるタイプの出版物や異なった資料からなる付属資料をもつ出版物は、各々のユニットや部分にあてはまる術語を介して検索可能である(第5章参照)。

この情報は、常に利用可能(画像のシンボルや判例など)とすべく、記号で表現可能である。」  
0.4.4.2 のほかは、1.3 資料種別タイプ(Tipo di materiale)、付録 C 一般資料種別(Designazioni generiche del materiale)にしかでてこない。

○0.4.4.3 出版物のタイプと記録の書誌レベル

書誌記録を次のカテゴリーに分ける:

- a) 単行書 (monografiche)(1.5.1 条)
- b) 逐次刊行物 (periodiche) (1.5.2 条)
- c) シリーズ(collezione) (1.5.3 条)
- d) 単行書または逐次に含まれる自立していない著作物(spogli) (5.6 条)
- e) 集合レコードに記録された未出版の合集(raccolte) (6.0.5.1 条)

→e)がよく判りません。

○0.5.2 言語の優先順位

- ・イタリア語とラテン文字優先
- ・ラテン語→英語→フランス語→スペイン語→ドイツ語→  
他のロマンス語(ポルトガル語, ルーマニア語等)→  
他のラテン文字言語(オランダ語, ハンガリー語等)→  
ギリシャ語→ロシア語→他のキリル文字言語(ブルガリア語等)→  
他のアルファベット言語(ヘブライ語, アラビア語等)→非アルファベット言語(中国語等)

### 1.3. REICAT 第1部

第1部 書誌記述と個別資料に関する情報

1. 書誌記述の目的と書式
2. 書誌記述の一般規則
3. 情報源
4. 記述のエリアとエレメント
5. 分冊出版物の記述および分出記述
6. 非出版文書の記述
7. 個別資料に関する情報

#### ●3章 情報源の規定

##### 3.1 優先順位

- 1) 主情報源
- 2) 出版物中の他の部分(補完情報源)
- 3) 出版物の残りの部分
- 4) 出版物以外の情報源

##### 3.1 主情報源(fonte primaria)

「タイトルと、たいていはその他の必須情報を、内容に先立って示す部分」

##### 3.4 主情報源を補完する情報源(fonti complementari)

「主情報源と似た情報や補う情報を、出版物のタイプによって明白に表す部分」

冊子出版物の場合: 前づけ, 表紙, 奥付(3.4B)

印刷楽譜の場合: 前づけ, 楽譜の第1頁, 表紙, 奥付(3.4C)

##### 3.5 既定の情報源(fonte prescritte)

「記述の各エリアと各エレメントのために、この規則は、どの情報源が優先的方法で活用されるべきかを示す」

→このあたりは AACR で見慣れた規定と同じだが、  
これ以下 17 頁にわたって実例を挙げて詳説。

●4章 書誌記述規則：ISBD の第1エリアから第8エリアに相当。

4. 記述のエリアとエレメント
- 4.1. タイトル及び責任表示エリア
- 4.2. 版表示エリア
- 4.3. 資料特性および一般表示エリア
- 4.3A. 音楽資料表示
- 4.3B. 数値エリア
- 4.3C. 数字エリア
- 4.4. 出版、製作、頒布表示エリア
- 4.5. 形態事項エリア
- 4.6. シリーズ・エリア
- 4.7. 注記エリア
- 4.8. 識別番号エリア

○ISBD 統合版のように、全ての資料種別の記述規則をまとめている。

○第0エリアに相当する規則はない(2009年はISBD 統合版の第0エリアが未発表)。  
また、ISBD 旧版や統合版準備版(2007)などに定義されていた本タイトル直後の  
[GMD(イタリア語 *designazione generale del materiale*)]はない。

●7章 個別資料に関する情報

FRBR の個別資料に関する記述についての規定。

→ いったいどこに記録するのかが判らないが、

○7章の序文

「個別資料に特化した情報は、書誌記述されない刷の情報を含めて、書誌記述とは別に記録する。

個別資料に関する情報は、書誌記述の一部をなす必要な注記とは明確に区別して記録されなければならない。この観点で、個別資料に関する記録に使ったことが明白にわかる表現を用いる(「...に属する個別資料」「...による個別資料」など)。

複数以上の個別資料に関する情報は、明白に際立たせなければならない。例えば、所蔵館、文庫、請求記号など、これらは各々の情報にも関連する。

単一の個別資料に関するアクセスのエレメントについては、20章をみよ。」

7. 個別資料に関する情報
- 7.1. 再版、刷、異版または複製の指定
- 7.1.1. 再版、刷に関する注記
- 7.1.2. 異版、状態に関する注記
- 7.1.3. 番号入りの資料、特定の個人向けの資料に関する注記
- 7.1.4. 自館内の複製に関する注記
- 7.2. 定期刊行物が揃っているかどうか
- 7.3. 完全度、欠落、不完全な資料
- 7.4. その他の資料特性
- 7.4.1. キャリアの特性
- 7.4.2. 函版、装飾
- 7.4.3. 大きさ
- 7.4.4. 製本
- 7.5. 入手、その他の出所の要素、書き込みの注記
- 7.5.1. 所有、入手元、寄贈に関する注記
- 7.5.2. 入手元と所有者に関するその他の要素



- 7.5.3. 書き込み, その他の手書き注記情報
- 7.5.4. 挟み込み資料
- 7.6. 保存状態, 修復に関する注記
- 7.7. 管理データ, 入手可能かどうかの情報

○7.1.4 条 自館内の複製に関する注記  
 ということで, 私的複製版の情報はここに規定されている。

## 1.4. REICAT 第2部

- 第2部 著作と表現形
- 8. 著作と表現形
- 9. 統一タイトル
- 10. 同一著作の表現形
- 11. 過去に存在した著作に関連する新たな著作
- 12. 出版物中に含まれる著作および統一タイトルの適用
- 13. 他のタイトルからのアクセス

○第2部は, REICAT の最大の特徴的部分。

~~FRBR 準拠~~ FRBR の第2グループの work と expression 準拠。

従来の目録規則(イタリアで言えば RICA まで)には統一タイトルの一部を除いて存在しなかった内容の部分。

### ●8章 著作と表現形

- 8. 著作と表現形
  - 8.1. 著作
    - 8.1.1. 定義
    - 8.1.2. 共同制作の成果物である著作
    - 8.1.3. 特別な活動の成果物である著作
    - 8.1.4. 合集
    - 8.1.5. 著作の部分
    - 8.1.6. 従属するかまたは追加された構成部分
  - 8.2. 表現形
    - 8.2.1. 定義
    - 8.2.2. 同一著作の表現形および過去に存在した著作に関連した新たな著作の表現形

○著作と表現形の定義のみ

○8.1 著作

8.1.1A 「著作とは, テキスト, 楽譜, その他の形式(映像, 舞踊など), 有形対象物, または手工芸品(図案, 彫刻など)で表現された知的または芸術的創造物である。」

8.1.1C 「既存の作品と識別され(8.2 参照), 新たな著作たる独創性がなく異版や改作(表現型)とみなされる具現物は同一著作である。」

○統一タイトルを通して, 全ての出版物で, 含まれる著作を個別化, 目録上に出現するあらゆる他の著作と識別する。

出版物中の他の著作から独立している全ての著作に統一タイトルを適用する。」

(2009/12/11 パドヴァで講習会資料<sup>17)</sup>より)。

○8.2 表現形

8.2.1 「表現形とは, ある著作が特別な実現化において帯びる特別の知的または芸術的形

体を意味する。」

「端的に云って、本文(あるいは音楽、または視覚)の内容の違いをもたらすような、著作のあらゆる実現化は、異なる表現形であると判断される。」

「しかし、別の出版物中に、また同一版次(例えば再版)に属する何冊かの個別資料中に、または手作業印刷時代のある個別資料に、最少ながら違いが発見されるなら、たとえ似ていても、同種の実現化のファミリーを異なる表現形であると判断するのが望ましく、目録上で識別できることが実際的で有用である。」

8.2.2 「同一著作の表現形は、原典の性格や性質を保ちながらその利用を認めたり、それを利用する可能性を広げる機能を持つ変種や修正版、異版などである。たとえば、翻訳版、複製版、追補版、増補版、短縮版、あるいは単純に異形体による版などである(10章)。

一方、既存の著作の性質、性格、ジャンルが変更されたり、公式に新たな著作として発表されたものは、異なる著作と考えられる(11章)。」

## ●9章 統一タイトル

○従来、無著者名古典、聖典、法典、音楽作品だけだった統一タイトルを適用対象を全資料に広げた規則を展開。

○統一タイトルの記述文法も新しくなっている。

「9.0.1 定義 統一タイトルは、著作または著作の部分を目録の目的のために識別するためのタイトルである。」

「9.0.2 機能

- a) 著作を同一タイトルを持つ別の著作から識別すること。
- b) ある著作が、異なったタイトルや同一言語、異言語、異なる媒体、あるいは別の実現形体で出版された様々な版を集中すること。
- c) ある著者の様々な著作および同一著作の諸版を順序立てて構造化してリストアップすること。
- d) 異なるが互いに関連のある著作の関連を示すこと。」

### ~~○9.2 統一タイトルの要素とその順序~~

~~9.2.1 初語の冠詞は省略しないが、検索、配列要素にはしない。除:固有名詞。~~

○9.3. 同一のタイトルを識別するために使われる識別子およびその他の要素

9.3.1. 著作のタイプとジャンルを識別する識別子

La passione di Gesu Cristo <dramma>

La passione di Gesu Cristo <sacra rappresentazione>

9.3.2. 同一タイトルを識別するために使われる別の要素

「著作のタイプやジャンルを識別する識別子が適用できないか、統一タイトルを区別するには不十分で、同一著作とされてしまいかねない場合は、更なる識別子またはタイトル関連情報を次の要領で追加する:

- 1) 伝統的タイトルで知られる古典と非テキスト著作には、最初の出版年(音楽作品は判明していれば作曲年)、古代や中世の著作は時代。
  - 2) 他のテキスト著作(除雑誌と叢書)は次の優先順:
    - a) 大部分の版に表示されていれば、タイトル関連情報
    - b) タイトルに付随して表示されていれば、責任表示に記録する形式で、著作の编者または類似の責任表示
    - c) 著作の出版社
    - d) 初版または唯一の版の出版年および出版地
  - 3) 出版社シリーズは、出版社名
  - 4) 逐次刊行物は初号の出版年と出版地
- これらでなおかつ不十分の場合は、著作の識別にふさわしいその他のエレメントを選択する」

Codice di procedura penale <1931>

Codice di procedura penale <1988>

Storia della letteratura italiana <diretta da Enrico Malato>

Storia della letteratura italiana <direttori Emilio Cecchi e Natalino Sapegno>

(主標目もタイトル関連情報もなく、識別子での識別が必要なので、編者表示を採用)

~~Storia di Roma / Bonghi, Ruggiero~~

~~La storia di Roma / Ferrtori, Bruno~~

~~Storia di Roma / Fraschetti, Augusto~~

~~Storia di Roma / Livius, Titus~~

~~(Ab Urbe condita / Livius, Titusを参照するタイトル)~~

~~→2)b)の規定とは違い、責任表示での表示形ではなく、標目形で例示!?~~

#### ○9.4. 統一タイトルの因習的な付加事項

##### 9.4.1. 音楽作品の編曲, およびテキストだけの出版物

Orfeo ed Euridice (riduzione, voci, pianoforte)

cf: 従来の ISBD, AACR などでは。

[Orfeo ed Euridice. Vocal score. Italian] など

cf: ISBD イタリア語訳。

[Orfeo ed Euridice. Spartito. Italiano] など

Suite, liuto, BWV 1006a, mi maggiore (trascrizione, chitarra)

Preludio e fuga, organo, BWV 532, re maggiore (orchestrazione)

作曲者と作詞者が同一人物の著作の歌詞のみの出版物の場合のみ、統一タイトルに適切な識別子を追加する

Tristan und Isolde, WWV 90 (libretto)

→イタリアの目録の伝統では、ISBD, AACR と異なり、以前から台本、歌詞は作詞者を標目にしている。

##### 9.4.2. 言語

Chanson de Roland (in italiano)

Canti orfici (in spagnolo)

Citizen Kane (in italiano)

Bibbia (in francese, francese antico)

Metamorphoses (in inglese, medio inglese)

Gazzetta ufficiale dell'Unione europea

(多言語の版が同時出版される場合は、イタリア語版は識別子なし)

Gazzetta ufficiale dell'Unione europea (in francese)

Gazzetta ufficiale dell'Unione europea (in inglese)

##### 9.4.3. 具現化の形態

Così fan tutte, KV 588

原曲の総譜

Così fan tutte, KV 588 (audioregistrazioni)

録音資料

Così fan tutte, KV 588 (videoregistrazioni)

映像資料

#### 9.4.4. 抜粋

Corano (in italiano ; antologie)

Encyclopedie, ou Dictionnaire raisonne des sciences, des arts et des metiers (in italiano ; antologie)

Rigoletto (audioregistrazioni ; antologie)

#### 9.5. 集合統一タイトル

[Opere. Poesia]

[Opere. Discorsi]

抜粋の合集の場合

[Opere] (antologie)

[Opere. Poesia] (in italiano ; antologie)

→例えば、「0」と「<>」との違いは何か？「[]」を使用するのかもしれないのか？など、統一タイトルの識別子を記述する句読法の規則が、規定されていないのはなぜでしょうか？

Cf: 書誌記述の各エリアの句読法は、各々4.x.0.4で規定があるのに。

→REICAT から離れますが、REICAT 以前からですが、SBN の統一タイトルはとても個性的です。音楽作品の場合ですが、識別事項ではない、楽器編成、声部などが、付記事項として記載されています。

### ●10章 同一著作の表現形

#### 10. 同一著作の表現形

10.1. 別エディション, 別バージョン

10.2. 短縮版, 抜粋

10.3. 増補版, 校訂版, 改訂版

10.4. 翻訳

10.5. 音楽作品の編曲

10.6. 複製

10.7. 利用形態の違いによる異なりバージョン

10.8. 実演の録音

「同一著作の表現形は、原著の著者または他の著者による異版、改訂版であり、その性質や性格を保ちながら、その利用を伸ばし、広げる目的を持っている。これらに相当するのは以下のとおり：

- a) 著者本人が著した版、草稿もしくは具体化、それに関連する要約などで、異なるタイトルによって識別される修訂版ではない(10.1条)
- b) 著者のまたは著者とは別の編集委員会の意図に基づく改訂版など、または内容を再構築したりオリジナルテキストを入手可能とする目的で作られた批判校訂版など(10.1条)
- c) オリジナルとは別の利用目的をもつ短縮版、増補版、改訂版、校訂版(10.2条及び10.3条)
- d) 他の言語、他の記録法、様々な手段に著作の利用を広げる目的をもつ、翻訳、筆写、複製、実演(10.4-10.8条)

オリジナルから新たな著作を生み出す、過去に存在した著作と区別される改変は11章参照。」

○これらを、10.1 から 10.8 のカテゴリーに分けてそれぞれ統一タイトルの例示を示し

ている。

●11章 過去に存在した著作に関連する新たな著作

- |  |
|--|
| 11. 過去に存在した著作に関連する新たな著作                        |
| 11.1. 翻案, 改作,                                  |
| 11.2. 自由な翻訳, パラフレーズ                            |
| 11.3. 要約, あらすじ                                 |
| 11.4. 物語テーマまたはその他のジャンルの無著者名著作                  |
| 11.5. 他人の手によるまたは関連する公的文書                       |
| 11.6. 用語索引, 索引, 要約およびその他の実用または教育的機能<br>をもった編集物 |
| 11.7. 既存の作品に基づく音楽作品                            |
| 11.8. 音楽の実演                                    |
| 11.9. 図像または立体の作品の改作, または派生した作品                 |
| 11.10. ジャンルやスタイルの改変                            |
| 11.11. 美術や表現の異なった様式への改変                        |
| 11.12. 続編, 増補, および別冊                           |
| 11.13. 他の著作の利用または実現に関連するか機能のある著作               |

○過去に存在した著作とは区別される新しい著作は次のとおり定義：

- a) 改作, 改訂(注解, 要約など)で, 著しく内容が兼行されており, ジャンルは変更ないが, 外見上は新たな著作にみえ, タイトルや責任表示が変わっている場合もある(11.1-3条)
- b) 物語または他のジャンルの改訂で, 過去に存在した著作の再構築ではないもの(11.4条)
- c) 他の著作から派生したか, または関連のある公的文書, および公的文書に関連のある公的な著作(11.5条)
- d) 著作のジャンルまたは性質の変更をもたらす改変, 実用的または教育的機能をもった改訂, 翻案, 翻訳など(11.6-11.11条)
- e) 過去に存在した著作のサプリメント(または続編, 追補など)で, 目立った本タイトルで識別されるもの(11.12条).

○各々のテゴリーの規定とそれぞれ統一タイトルの例示を示している。

○11.7. 既存の作品に基づく音楽作品

La boheme di G. Puccini : due trascrizioni per pianoforte a quattro mani / di A. Buzzi-Peccia

(プッチーニのオペラによる幻想曲)

t.u. Fantasia: La boheme di Puccini, pianoforte a 4 mani

<< La boheme

用例での略語:

t.u. ....統一タイトル(titolo uniforme)。

t.u.con aggiunte .....付加事項付きの統一タイトル  
(titolo uniforme con aggiunte)。

t.coll.u.con aggiunte .....付加事項付きの統一タイトル  
(titolo uniforme con aggiunte)。

○11.8. 音楽の実演

Milva canta Brecht

(ブレヒトの歌詞にハンス・アイスラーとクルト・ヴァイルが作曲した歌8曲をミルバが歌ったLPアルバム  
のタイトル)

*t.u. Milva canta Brecht*

○11.11. 美術や表現の異なった様式への改変

文学著作に基づく劇場著作

文学著作に基づく図像著作

文学著作または劇場著作に基づく音楽著作またはバレエ著作

文学著作に基づく映画著作またはテレビ著作

劇場著作または音楽著作に基づく映画著作またはテレビ著作

図像著作またはその他のジャンルの著作に基づく映画著作またはテレビ著作

映画著作またはテレビ著作に基づく文学著作または劇場著作

文学著作または映画著作に基づく他のジャンルの著作

●12章 出版物中に含まれる著作および統一タイトルの適用

12.1. 単一著作を含む出版物

12.2. 著作の部分を含む出版物

12.2.1. ある著作の一部を含む出版物

12.2.2. ある著作の複数部分を含む出版物

12.3. 同一著者の複数著作を含む出版物

12.4. 総合タイトルのもとの合集

12.4.1. 異なる著者、または無著者名の合集

12.4.2. 既存の作品と書き下ろしを含む合集

12.5. 複数著作または追加の貢献著述を含む出版物

12.5.1. 主要著作の選択

12.5.2. 追加の貢献著述

12.6. 著作の構成部分

12.7. 同一著作の複数の表現形を含む出版物

○12.2.1. ある著作の一部を含む出版物

*Madamina! il catalogo e questo : (dall'opera Don Giovanni) : per canto e pianoforte (basso) / Mozart*  
(オペラ「ドン・ジョヴァンニ」からカタログのアリアの印刷楽譜)

*t.u. con aggiunte Don Giovanni, KV 527. Madamina! il catalogo e questo (riduzione, basso, pianoforte)*

註:「*t.u. con aggiunte*」は付加事項付きの統一タイトル(*titolo uniforme con aggiunte*)。

○12.3. 同一著者の複数著作を含む出版物

著作が3以下のときは、各々の著作に統一タイトルを適用する。

*Alcestis ; Medea ; Baccanti / Euripide*

*t.u. Alcestis*

*altro t.u. con aggiunte Alcestis (in italiano)*

*t.u. Medea*

*altro t.u. con aggiunte Medea (in italiano)*

*t.u. Bacchae*

*altro t.u. con aggiunte Bacchae (in italiano)*

著作が3を超えるときは、集合統一タイトルを適用する。共著は各々の著者の集合統一  
タイトルを適用。個々の著作の統一タイトルの適用は任意。

Scritti sull'arte / Karl Marx, Friedrich Engels

(第1著者の著作, 第2著者の著作, および2人の共著作の選集)

*t.coll.u. con aggiunte* [Opere] (in italiano ; antologie) / Marx, Karl

*t.coll.u. con aggiunte* [Opere] (in italiano ; antologie) / Engels, Friedrich

### ●13章 他のタイトルからのアクセス

○この章は1ページ弱の文から成る一条あるのみ。

「前章までの規定に従えば, 1以上の統一タイトル, 出版物の主書名以外に, 検索において有効な別のタイトルがアクセス要素を構成しなければならない。

- a) 出版物の情報源以外の箇所(別標題紙, 表紙, 背, 副標題紙, ラベル, 容器など)で強調表示されている主書名以外のタイトル(4.1.1.7A)。
- b) 多冊出版物のタイトルの変種(4.1.1B)。
- c) 代替タイトル(4.1.1.2), それだけで著作を参照するために使用できる場合。
- d) 並列タイトル, 3以上ある時は最も普及している言語のもの(4.1.4.1)。
- e) タイトル関連情報(4.1.2), タイトル(またはその部分)を構成する略語の発展形であるか, 主書名のように検索されると考えられる場合。
- f) タイトルの前に表示されているかタイトルを導いている表現, またはフロント字幕, タイトルまたはメイン・タイトルの一部分と考えられる場合(4.1.1.1E, 4.1.2.3, 4.6.1.1B)。
- g) タイトルの初語または冒頭の数語(内部タイトル)に続く部分, 強調表示されていたり, 冒頭の数語の導入的性質ゆえに主タイトルと考えることができる場合(4.1.1.1D)。
- h) タイトルのスペルの変種, 例えば, 古形スペルまたは別スペル, 合字または, 特殊文字の別の翻字, 非アルファベットの記号, 特殊なスペル(2.5), ラテン文字以外の文字の翻字(2.4, 付録 F)。
- i) 共通タイトルと個別タイトルからなるタイトル, 記述において共通タイトルにタイトル関連情報または責任表示が続く場合でも(4.1.1.3, 4.1.2.5, 4.1.3.6D)。
- j) 単独で出版された著作, またはサブシリーズまたはセクションのタイトル, 総称的でなく, かつ, 記述(4.1.1.3, 4.6.1.2)または統一タイトル(9.1.4)で共通タイトルに続いて表示されている場合。
- k) 総合タイトルを持たない出版物の1番目の著作に続く著作のタイトル。

シリーズのタイトルもまた, 以上の列記と同様に, 変種, 異種とともにアクセス要素でなければならない。

これらのタイトルまたはタイトルの変種は, 統一タイトルの参照または関連の書誌記述へのアクセス要素形をとる。

異なった形だが検索の上では等価ならば, 別のアクセス要素を作る必要はない(例えば La Bibbia と Bibbia, MASH と M\*A\*S\*H)。

## 1.5. REICAT 第3部

→ここでは, イタリア語の *responsabilità* が場合によって人を意味したり行為そのものを意味したりしていて, 日本語に対応させにくいので, 仮に術語 *responsibility* におきかえて説明します。

第3部 Responsibility
14. responsibility の関連
15. 個人名の統一標目形

- |  |
|--|
| 16. 団体名の統一標目形<br>17. 著作の responsibility<br>18. 特定の表現形の responsibility<br>19. 出版および制作の responsibility<br>20. 個別資料の responsibility |
|--|

○FRBRの実体の第2部グループ(personとcorporated body)に準拠。

○従来の規則での基本記入の標目、アクセス・ポイントの定義に相当。

~~○14章, 18章, 19章, 20章がFRBRを意識している部分。~~

19章, 20章では従来の著者性から広げて, FRBR 準拠の考え方を取り入れている。

●14章 responsibility の関連

- |  |
|--|
| 14. responsibility の関連<br>14.1. 定義と適用範囲<br>14.1.1. 著作と表現形概念と具体化のための responsibility<br>14.1.2. 団体の responsibility<br>14.1.3. 誤り, または偽の responsibility<br>14.1.4. 間接的 responsibility<br>14.1.5. 出版と制作の responsibility<br>14.1.6. 単一の個別資料に関する responsibility<br>14.2. responsibility の水準, 階層, タイプ<br>14.2.1. 著作の responsibility と表現形の responsibility<br>14.2.2. 著の responsibility と別の種類の responsibility<br>14.2.3. 主 responsibility, 共 responsibility, 副 responsibility<br>14.2.4. responsibility の種類<br>14.2.5. 別法的取扱い |
|--|

・ responsibility にとって, 著作または表現形を着想, 生成, 実現, 修正, 実演する個人や団体に結び付ける関連は目録作成の目的にかなうものである。

・たとえ関連する活動を行わなくても, 形式上 responsibility の役割を帯びている人および団体を含む。

・規則はこれらを区別する:

- Responsibility のレベル
- Responsibility のタイプ
- Responsibility の段階

○Responsibility のレベル

REICAT は著作レベルの responsibility と特定の表現形に関する responsibility を区別する。

著作レベルの responsibility   オリジナルな形式での著作の着想, 構成, 実現に関すること

表現形レベルの responsibility   オリジナルから派生した表現形(改訂版, 増補版, 他の言語への翻訳, 実演など)に関すること

○Responsibility のタイプ

REICAT は著の responsibility とその他の役割の responsibility を区別

- 著者(autore)……オリジナルな形式での著作を着想, 構成, 実現した人または団体
- 編集(cura)または指揮運営(direzione) ……複数著者または協力者の著作を実現化
- 単一著者または複数著者の複数著作または部分の合集(raccolta)
- 修正(modificazione) ……既存の著作とは異なるが新規性がないと考えられる表現形



(翻訳, 編者など)

○ **Responsibility** の段階 (3 段階) ⇒ 標目のタイプとの対応 UNIMARC との対応

主 responsibility (responsibilità principale)

単一著者または, 3 人以上の共著作の第 1 著者

⇒ 主標目 (intestazione principale) 700

共 responsibility (responsibilità coordinata)

ともに主 responsibility を帯びた複数の著者

⇒ 共標目 (intestazioni coordinate) 701

副 responsibility (responsibilità secondaria (o subordinata))

前 2 者に比較して低い(編者, 訳者など)

⇒ 副標目 (intestazioni secondarie) 702

● 15 章, 16 章, 17 章, 18 章で具体的な標目形を実例をあげて詳しく規定しているが, 略号 i.p. (intestazione principale), i.c. (intestazione coordinate), i.s. (intestazione secondaria)で主標目か副標目かなどの区別を示すにとどまっている。

SBN のウェブ版の検索では区別はなさそう。

● 18 章 特定の表現形の responsibility

18. 特定の表現形の responsibility

18.0. 定義と適用範囲

18.1. 異なる版の responsibility

18.2. 翻訳の responsibility

18.3. 実演の responsibility

18.4. 同一著者の合集または集合タイトルのない合集の responsibility

18.5. 付加的な貢献の responsibility

18.5.1. 挿図

18.5.2. 序文

18.5.3. 解説, 注釈およびその他の追加資料

18.6. 表現形の複数の responsibility

18.7. 過去の表現型の responsibility および間接的な responsibility

○ 18.1 定義

オリジナルの著作から派生した著作の実現に責任のある人または団体は, 表現形の responsibility とみなす。

a) 異版 b) 翻訳 c) 読本, 読み下し など。

● 19 章 出版および制作の responsibility

19. 出版および制作の responsibility

19.0. 定義と適用範囲

19.1. 出版および制作の responsibility の記録

19.2. 標目

○ 19.1 定義

出版物の編集または物理的生産, あるいは頒布, 販売, 流通に含まれる活動に責任ある人, 団体の responsibility は, 出版および制作の responsibility とみなされる。

出版および制作に関する responsibility(装丁, 製本またはその販売)を持つ人と団体は,

20 章参照。

出版および制作に関する responsibility を持つ人と団体は、著作レベル(または表現形レベル)または単一の個別資料に関する responsibility をも併せ持つことがある。

#### ○19.2 標目

出版または資料製造に関連するアクセス要素の選択と表現には、可能な限り、団体の統一標目の規定(15 章)に準ずる。個人を取り扱うときは(出資者、行商人など)、人の統一標目の規定(16 章)に準ずる。

#### ●20 章 個別資料の responsibility

##### 20. 個別資料の responsibility

##### 20.0. 定義と適用範囲

##### 20.1. 単一の個別資料のための responsibility の割り当て

##### 20.2. 標目

#### ○20.0 定義

単独の個別資料を所有していた人、団体の responsibility, または、その個別資料に関連する利用、活動(装丁、製本、添削、手書きの書き込みなど)に責任ある人、団体の responsibility は、個別資料の responsibility とみなされる。

#### ○20.2 標目

個別資料に関連するアクセス要素の選択と表現には、可能な限り、15 章と 16 章の人、団体の標目形の規定に準ずる。出版、製造に関係した書店、印刷商などが標目とみなされる場合は、19 章に準ずる。

~~→19 章、20 章は握っちあげ臭くてよく判りません。~~

## 1.6. REICAT 付録

付録 A. 略号表

付録 B. 大文字と数詞の使用法

付録 C. 一般資料種別

付録 D. 特定資料種別

付録 E. 楽譜の種別

付録 F. 非ラテン文字の翻字

付録 G. 聖書の統一タイトル

付録 H. 集合統一タイトルのためのジャンルの術語

#### ○付録 C GMD に使用する推薦用語リスト。

未出版資料、通常図書館資料にしないものには使わないが、必要なときは追加する(manoscritti など)。複数の資料種別からなる場合は、分量の多いほうをとる。

Testi (テキスト)

Musica scritta (o Musica notata) (印刷楽譜)

Documenti grafici (画像資料)

Documenti cartografici (地図資料)

Oggetti (オブジェクト)

Audioregistrazioni (音声録音)

Videoregistrazioni e filmati (録画資料と撮影資料)

Documenti elettronici (電子資料)  
Multimediali (マルチメディア)

○付録 F 非ラテン文字の翻字法。

アラビア文字, 漢字, キリル文字, ヘブライ文字, かな, ギリシャ文字。

漢字 UNI ISO 7098:2005, Romanizzazione della lingua cinese (ピンイン)推奨。

かな 改訂ヘボン式を推奨。長音はマクロン。撥音は b, m, p の直前も n。

ISO 3602:1989, Romanization of Japanese (訓令式)は勧めない。

○付録 H 集合統一タイトルのためのジャンルの術語

➔ ジャンルの分類の流儀が日本と微妙に対応しないのが, 興味深いので, 抜粋しました。

H1 テキスト著作

H1A 第1水準

Opere. Poesia 韻文

Opere. Prosa 散文

Opere. Narrativa 叙事文

Opere. Teatro 劇

Opere. Scritti 評論

H1B 第2水準 第1水準で足りない場合。

Opere. Romanzi 長編小説

Opere. Racconti 物語

Opere. Novelle 短編小説

Opere. Commedie 喜劇

Opere. Tragedie 悲劇

Opere. Discorsi 対話

Opere. Saggi 論説

Opere. Lettere 書簡

H2 画像, 美術, 建築等の著作

Opere. Architettura 建築

Opere. Disegni デザイン

Opere. Fotografie 写真

Opere. Grafica 画像

Opere. Incisioni 版画

Opere. Pittura 絵画

Opere. Scultura 彫刻

H3 音楽作品および歌詞

Canzoni 歌詞オンリーでも歌の楽譜でも使用

Concerti 協奏曲に使用, コンサートには使わない

Messe

Opere. Libretti

Opere liriche

Sinfonie

Sonate

音楽作品の形式を示す術語を使用しても良い: Fughe, Quartetto など。

演奏手段を示す術語の仕様も可:

Opere. Musica corale 合唱曲

Opere. Musica da camera 室内楽曲  
 Opere. Musica per organo オルガン曲  
 Opere. Musica per banda 吹奏楽曲  
 Opere. Musica da film 映画音楽  
 足りない場合は、音楽作品の統一タイトルの章の例に倣い、  
 Sonate, pianoforte や Opere liriche. Sinfonie.などとする。  
 H4 法令，行政文書，公文書  
 H4A 一般用語  
 Documenti  
 Materiale informativo e documentario  
 H4B 特殊用語  
 Cataloghi 目録  
 Circolari 通達  
 Codici 法典  
 Giurisprudenza 法判例  
 Leggi 法令  
 Norme 規則  
 Regolamenti 規定  
 Trattati 条約

## 2. まとめ

### →REICAT の特徴

- ・「書誌記述および個別資料の情報」「著作と表現形」「responsibility」の3部構成。
- ・電算化目録のための目録規則として作られたことを強調しており，検索キーの定義が随所であり，絞り込み検索のキーも規定している(0.4のGMDの規定など)。

実際の検索でのGMDは，SBNでも絞り込みキーに使用されている。使用語彙はREICATの付録Cに準拠していない。

- ・FRBRに準拠しており，第1部は実体の第1グループのworkとexpression，第2部は実体の第1グループのmanifestationとitem，第3部は実体の第2グループ(personおよびcorporate body)に対応している。

RDAのSection 1から3に次のようにそれぞれ対応している：

REICAT	RDA
Parte I Descrizione bibliografica e informazioni sull'esemplare	Section 1: Recording Attributes of Manifestation & Item
Parte II Opere e espressioni	Section 2: Recording Attributes of Work & Expression
Parte III Responsabilità	Section 3: Recording Attributes of Person, Family, & Corporate Body

- ・~~FRBRの実体の第1グループ以外に関する規定はないようである。~~  
FRBRの実体の第3グループに関する規定はない。
- ・RDAがFRBR対応で打ち出している「著者+タイトル」形式の優先タイトルに相当する概念は

ない。

- ・ 従来の目録規則(イタリアでは RICA など)でいえば、第 1 部は記述、第 3 部は著者標目に相当。
- ・ 第 1 部の書誌記述のルールは、従来の目録規則を踏襲。書誌記述の規則の構成は ISBD 統合版に類似。但し、エリア 0 に相当するエリアはない。

~~・ 特徴は第 2 部。FRBR に準拠。~~

- ・ 著作、表現形、体現形について詳細に規定、数多くの例示あり。
- ・ 統一タイトルの規定を従来より詳細にして、無著者名古典、法令、音楽作品等に限定しないで、全著作に拡大。記述文法も従来 of 書式を若干変更。
- ・ 何を異なる表現形として識別するのかが規則は詳細だが、それを具体的に書誌記述のどこに反映するのかが判らない。
- ・ 同一の表現形毎に集中化する機能は不明。現段階の SBN にその機能はない可能性がある。ウェブ版の検索システムでは著作による集中のみだから、NACSIS-CAT の UTL リンクと同等の機能と推測される。
- ・ 第 3 部標目の選定で、Responsibility について細かく規定しているが、例えばそのレベル、タイプ、段階の識別の定義を実際の書誌記述のどこに反映するのかが不明。SBN では、DB の構成上は UNIMARC のフィールドで識別しているものと推測されるが、ウェブ版の検索システムには識別機能はないようだ。
- ・ Responsibility について、19 章では manifestation に関する responsibility, 20 章では item に関する responsibility を定義し、従来の著作物に関してだけが responsibility だったものをもっと広げた考え方にしてを定義しているところが、FRBR 準拠である。

### 3. 本日の参考資料

#### 図書館学

1) Biblioteconomia e bibliografia : contenente il nuovo regolamento delle biblioteche pubbliche statali, con relativo modulario aggiornato in base al D. M. 27-12-1996 / [a cura di Nunzio Silvestro. -- ed 4ª. -- Napoli : Esselibri-Simone, stampa 1998. -- 335 p. ; 21 cm. -- (Simone ; 90). -- ISBN 88-244-0907-5.

2) Dizionario di biblioteconomia e scienza dell'informazione : inglese-italiano, italiano-inglese / Juliana Mazzocchi. -- Milano : Bibliografica, 2009. -- [213] p. ; 21 cm.. -- (Bibliografia e biblioteconomia ; 91). -- ISBN 978-88-7075-687-6.

#### RICA ほかにイタリアの目録規則

16) Regole per la compilazione del catalogo alfabetico per autori nelle biblioteche italiane / Ministero della Pubblica Istruzione, Direzione Generale delle Accademie e Biblioteche. -- Roma : F.lli Palombi, 1956. -- xv, 121, 47 p., p. 126-133 ; 25 cm.

3) Regole italiane di catalogazione per autori. -- [Rist. anast.] -- Roma : Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche, 1995. -- xxix, 260 p. ; 25 cm. -- Ripr. facs. dell'ed.: Roma : ICCU, 1979. -- ISBN 88-7107-053-4.

4) Quaderno Rica : esempi per lo studio delle Regole italiane di catalogazione per autori / Gruppo di lavoro per lo studio e la diffusione delle regole italiane di catalogazione per autori. -- Roma : Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche, 1981. -- vi, 359 p. ; 22 x 31 cm.

5) Guida alla catalogazione per autori delle stampe / Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche, Istituto centrale per il catalogo e la documentazione. -- Roma : ICCU, 1986. -- viii, 140 p. : ill. ; 29 cm. -- ISBN 88-7107-012-7.

6) Guida alla catalogazione di bandi, manifesti e fogli volanti / Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- Roma : ICCU, 1999. -- Vol. 1º. -- 87 p. ; 30 cm.

#### ISBD ほかに国際的目録規則等

7) ISBD(M) : International standard bibliographic description for monographic publications / International federation of library associations and institutions. -- Rev. ed., ed. italiana / a cura di Rossella Dini. -- Roma : Associazione italiana biblioteche, 1999. -- 67 p. ; 30 cm. -- ISBN 88-7812-007-3.

8) ISBD(G) : General International Standard Bibliographic Description : annotated text / International federation of library associations and institutions ; prepared by the ISBD Review Committee Working Group set up by the IFLA Committee on Cataloguing. -- Rev. ed., ed. italiana / a cura dell'Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- Roma : ICCU, 1999. -- 51 p. ; 24 cm. -- ISBN 88-7107-040-2.

9) ISBD : International Standard Bibliographic Description / IFLA International Federation of Library Associations and institutions ; raccomandata dall'ISBD Review Group ; approvata dallo Standing Committee dell'IFLA Cataloguing section ; edizione italiana a cura dell'Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- Ed. consolidate. -- Roma : ICCU, 2012. -- xv, 266 p. ; 30 cm. -- ISBN 978-88-7107-131-2.

10) Regole di catalogazione angloamericane : seconda edizione, revisione del 1988 / redatte sotto la direzione del Joint steering committee for revision of AACR: the American library association, the Australian committee on cataloguing, the British library, the Canadian committee on cataloguing, the Library association, the Library of Congress ; a cura di Michael Gorman e Paul W. Winkler. -- Ed. italiana / a cura di Rossella Dini e Luigi Crocetti. -- [Milano] : Bibliografica, [1997]. -- xii, 712 p. ; 25 cm. -- Translation of : Anglo-American cataloguing rules. 2nd ed. -- ISBN 88-7075-469-3.

11) Marc 21 : formato conciso per dati bibliografici / edizione italiana a cura di Angela Contessi e Alejandro Gadea Raga. -- Milano : Bibliografica, [2007]. -- xii, 343 p. ; 30 cm. -- Translation of: Marc 21 format for

bibliographic data. -- ISBN 978-88-7075-666-1.

12) Requisiti funzionali per record bibliografici : rapporto conclusivo / IFLA Study group on the functional requirements for bibliographic records ; approvato dallo Standing committee della IFLA section on cataloguing ; edizione italiana a cura dell'Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- Roma : ICCU, 2000. -- 142 p. ; 24 cm. -- At head of title: International federation of library associations and institutions. -- ISBN 88-7107-097-6.

13) Requisiti funzionali per i dati di autorità : un modello concettuale : relazione finale, dicembre 2008, approvata dagli Standing Committee dell'IFLA cataloguing section e dell'IFLA classification and indexing section, marzo 2009 / a cura di Glenn E. Patton, IFLA working group on functional requirements and numbering of authority records (FRANAR). -- Ed. italiana / a cura dell'Istituto Centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- Roma : ICCU, 2010. -- 03 p. : ill. ; 24 cm. -- ISBN] 978-88-7107-129-9.

#### SBN

14) Guida alla catalogazione in SBN. Pubblicazioni monografiche, pubblicazioni in serie / Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- 2<sup>a</sup> ed. -- Roma : ICCU, 1995. - vi, 315 p. ; 31 cm. -- ISBN] 88-7107-036-4.

#### REICAT

15) Regole italiane di catalogazione : REICAT / a cura della Commissione permanente per la revisione delle regole italiane di catalogazione. -- Roma : ICCU, 2009. -- At head of title: Istituto centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche. -- ISBN 978-88-7107-127-5.

#### レジュメ作成に使用

17) 2009年12月にヴェネト州パドヴァ県のアバノ・テルメ市立図書館で開催された目録法講習会のスライド資料

<http://www.bpa.pd.it/doc/ProgCorsoCat2009.pdf>

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_02DescrizioneBibliografica.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_02DescrizioneBibliografica.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_03EsempiDescrizioneParte1.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_03EsempiDescrizioneParte1.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_04EsempiDescrizioneParte2.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_04EsempiDescrizioneParte2.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_05Unimarc.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_05Unimarc.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_06Unimarc\\_e\\_Libero.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_06Unimarc_e_Libero.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_07REICAT.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_07REICAT.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_08IndicizzazioneSoggetto.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_08IndicizzazioneSoggetto.pdf)

[http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009\\_10CDD.pdf](http://www.bpa.pd.it/doc/CAT2009_10CDD.pdf)

以上, 2015.10.30 確認